

- iPad
- iMovie
- Cisco Webex Meetings

&lt;単元・題材名等&gt;

みんなであつかう まちのしせつ

## ねらい

図書館の見学で気付いたことや考えたこと（図書館の設備や支えている人の工夫、施設のよさ）を動画にまとめ、郡内の小学校2年生に発信し、図書館の魅力等を説明したり、相手からの質問に的確に答えたりすることができる。

## 主なICTの活用方法

- ・ 見学した図書館の特徴やよさを撮影し、それを iMovie で編集した作品を他校の仲間に紹介する。
- ・ Cisco Webex Meetings を用いて、動画を共有したり、発表動画の感想を聞いたりして、郡内の小学校2年生と交流する。

## ICTを通じて育成する資質・能力

- ・ 見学を通して気付いたり、考えたりした図書館の魅力等を整理し、表現することができる。
- ・ 整理したり、郡内の2年生に伝えたりする活動を通して、見学した図書館の魅力やそこでの人々の働きを再確認し、気付きの質を高めることができる。
- ・ ICT 端末を活用し、交流する活動を位置付けることで、学習意欲を一層高めることができる。

## 実践の概要

本時は、単元のまとめの段階として、町内の図書館の見学を通して、気付いたり、発見したりしたことを基に、仲間と交流し、図書館の特徴やよさ等について表現する活動を進める。

また、自分がまとめた図書館の魅力等を発信する活動を単元末に位置付け、児童一人一人が動画作成アプリ「iMovie」を用いて、事前に撮影した写真を配置し、それに見出しを付けたり、音声を吹き込んだりして、自分なりに表現したいことをまとめるようにする。作成した動画を仲間同士で交流したり、保護者に見せてコメントをもらったりする。

本時では、郡内の小学校2年生とリモート回線を通じて、作成した動画の発表と交流を行う。動画を示すだけでなく、自分が気付いた魅力を具体的に説明したり、質問に答えたりする。交流後に「みんなであつかう まちのしせつ」を扱うため、本時を今後の活動を見通せる機会としている。

## 児童の学びの様子

- 前時までの学習活動では、図書館探検を通して気付いたことについて、写真の選択や見出しの言葉及び説明のアフレコの吟味を行うことを通して、気付きの質を高めることができていた。当日は、補足説明をすることで、新たな気付きを得ることができ、地元の図書館への愛着を深めた。
- 郡内の2年生と交流する活動を位置付けたことで、既習内容や生活経験を振り返り、受けた質問に対して、思考し表現することができた。自分では答えられない質問内容についても、仲間同士で交流し、回答することができた。



## 指導のポイント

- 自分が伝えたいことを表現するために、撮影した写真の中から必要なものを選択したり、順番を考えたりする活動を位置付け、気付きの質を高める。
- 保護者や郡内の同学年と交流し、自分の考えを伝えたり、相手の質問に答えたりすることで、思考が深まり、自己の成長への気付きを促す。